



MAFF

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

2024年度 北海道農政事務所 業務説明・座談会

令和6年6月6日～11日

農林水産省
北海道農政事務所

お伝えしたいポイント①

- 北海道農政事務所は**農林水産省の地方機関**であり、**北海道を管轄**しています。
- 「**食**」と「**環境**」に関する業務を担当しており、**農業以外の業務も意外と多く、幅広いフィールドで活躍**できます。
- 国家公務員採用一般職試験**（大卒程度試験・**北海道地域・行政区分**）から**10名以上採用**しています（技術区分の採用は本省で実施し、北海道を含む全国に配置）。
- 農業の専門知識は不要**です。
行政区分採用者の多くが文系学部卒で農業の知識・経験なしで入省しています。
もちろん、農学部等の**理系学部卒も大歓迎**です。

お伝えしたいポイント②

- 転勤範囲は基本的に北海道内**（札幌、函館、旭川、釧路、帯広、北見）です。なお、**3～4年目に本省（霞が関）勤務**があり、国家の中核での仕事も経験できます。
- おおむね2年程度で様々なポストを経験**していただきながら、**将来的に、自分にあった分野のスペシャリスト**になっていただきます。
- 残業は比較的少なく、休暇も取りやすい職場のため、プライベートの時間が確保**できます。
- 育児等との両立**が必要となった際には、**時差出勤、短時間勤務、育児休業**（北海道農政事務所では男女問わず100%取得）が可能であり、**職員が働きやすい職場**を目指しています。

今日お話すること

1. 農林水産省の業務

2. 農林水産省の職場環境

農林水産省は何のために存在しているか

- 農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、

常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

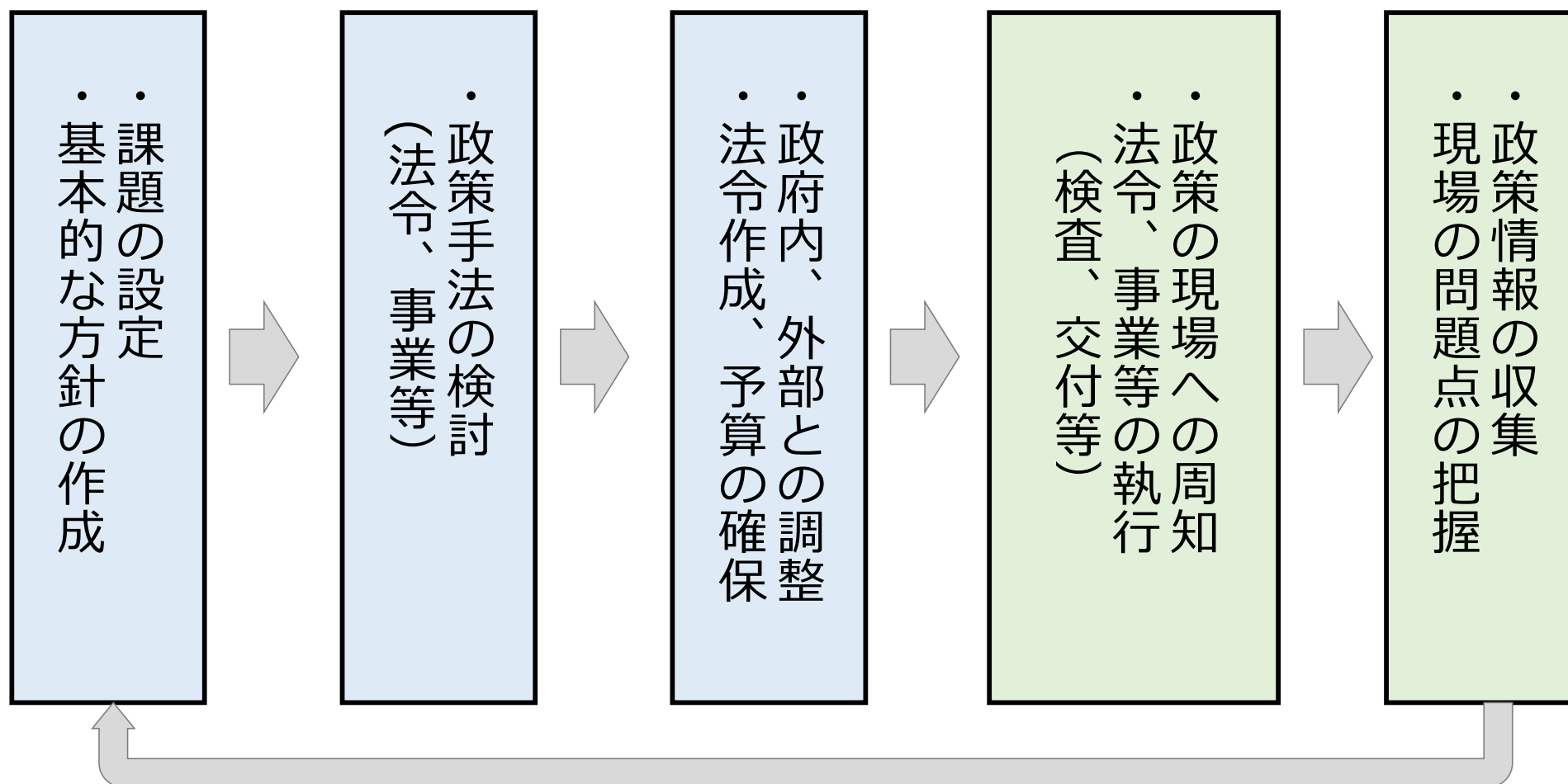
ビジョン

ミッション

農林水産行政の流れ

政策の企画・立案（主に本省）

政策の実行（主に地方農政局、北海道農政事務所）



～生産現場を支える（農産物）～

- 農産物の生産の振興
- 農業技術の普及
- 良質・低廉な農業生産資材（機械・肥料等）の供給と効率利用
- 環境保全型農業の推進
- G A P（農業生産工程管理）の普及

G A Pの普及



農産物の生産振興



農業技術
の普及



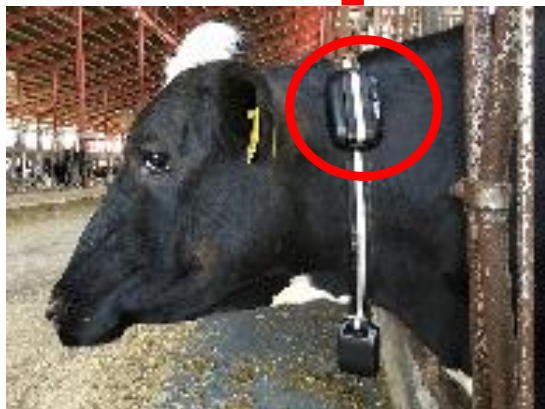
～生産現場を支える（畜産物）～

- 畜産物の生産の振興
- 生産技術の普及
- 環境問題（家畜の糞尿など）の改善
- G A P（農業生産工程管理）の普及
- 飼料供給の確保
- 競馬の運営の指導監督

技術の普及



発情を自動で通知



畜産物の生産振興



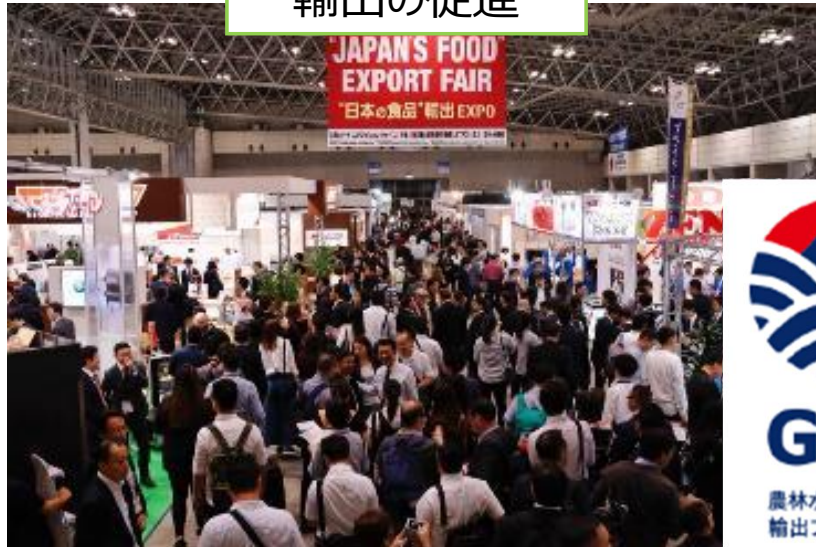
競馬



～食のマーケットを広げる～

- 農産物等の輸出拡大
- 食文化の発信
- 知財の保護・活用、規格・認証（JAS、HACCP）の戦略的活用
- 二国間経済外交等による輸出入環境整備
- 海外開発協力

輸出の促進



経済外交



知的財産の保護・活用



食文化の発信



～次世代を育てる～

- 新規就農対策 ■ 担い手への農地集積・集約化
- 担い手に対する金融・税制支援 ■ 収入保険・農業共済

新規就農対策
(後継者育成)



担い手育成 (女性農業者
の活躍推進)



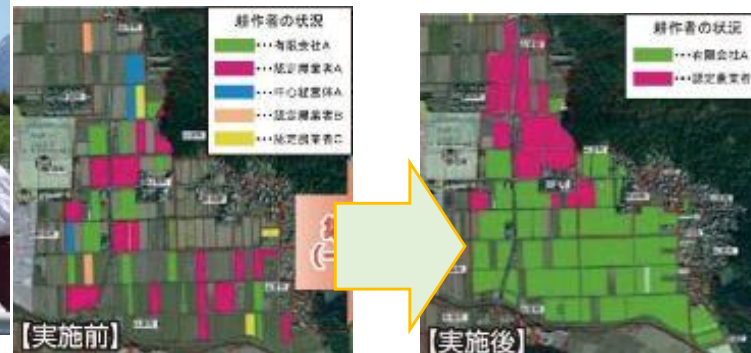
収入保険



新規就農対策
(農業教育)



農地の集積・集約化



農業共済



～食の安全を守る～

- 食品の安全性向上
- 植物・動物防疫対策
- 食品表示の適正化
- 食育

食品の安全性向上



Codex委員会



植物・動物防疫



食育の推進



地方機関での仕事風景①



有機農業に取り組む生産者との意見交換
@北海道農政事務所



出前授業「学生と考える
みどりの食料システム戦略」@北海道農政事務所



高収益作物の生産・需要拡大現地検討会の様子
@近畿農政局



麦・大豆に関連する支援策
（補助事業）の説明
@九州農政局

地方機関での仕事風景②

災害対応



政務出張随行



生産者説明会



資料作成



打合せ



情報収集



補助事業関連視察



BUZZMAFF撮影



電話対応



データ整理



PRイベント



自治体説明会



オンライン会議



今日お話すること

1. 農林水産省の業務

2. 農林水産省の職場環境

農林水産省の魅力

大きな転換期にある社会課題（食・農林水産業）に
幅広いフィールドで確かな貢献ができる。

転換期にある 農林水産業

- ・ 今、農林水産業は課題が山積している
- ・ ここから10年、20年で農林水産業は大きく変わる
- ・ いつの時代になっても、食と環境を守る仕事は決してなくなる

確かな貢献

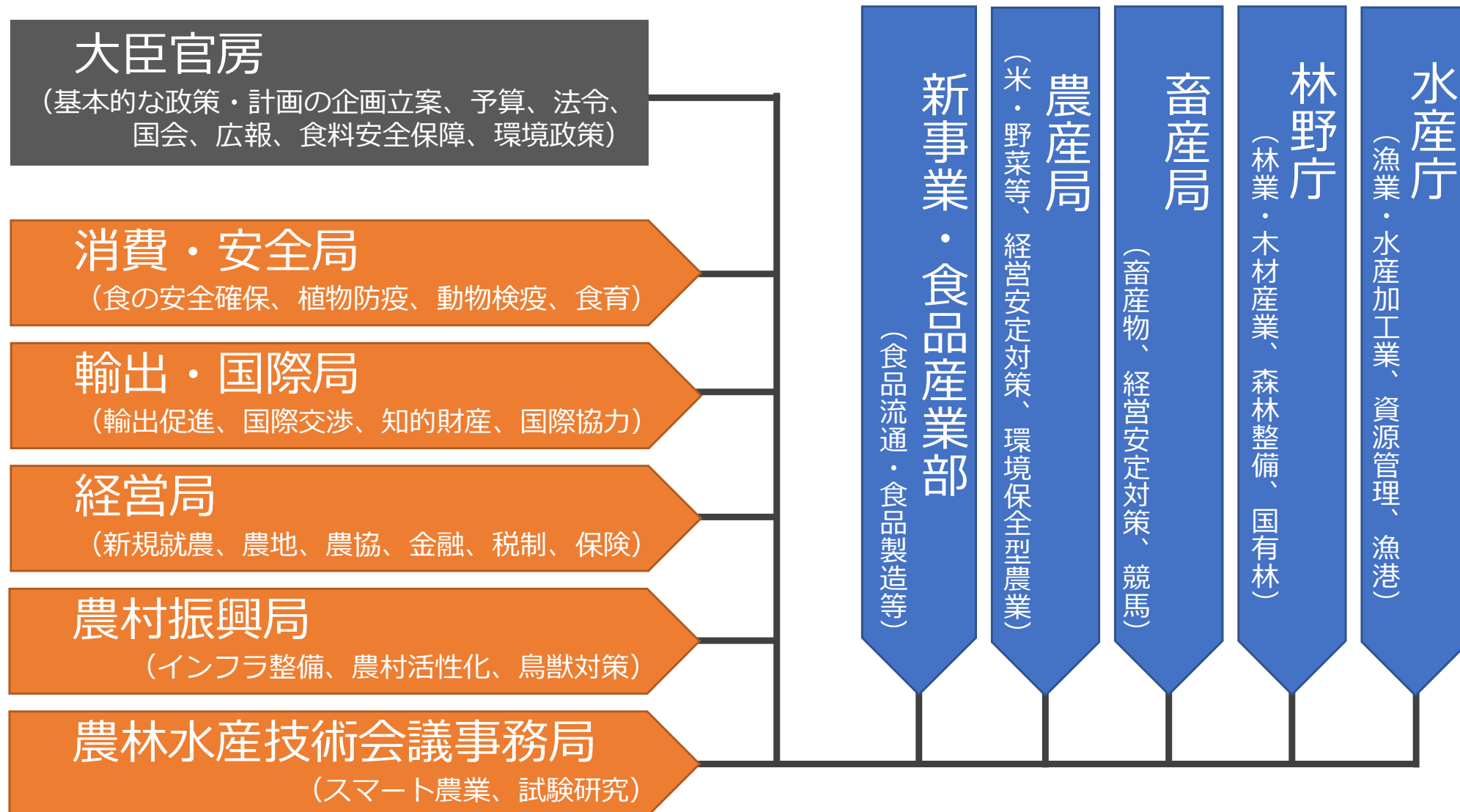
- ・ 産業（農林水産業、食品産業）を所管するからこそ、具体的な貢献ができる
- ・ 食という身近なものに関われる
- ・ ピンチの今だからこそ、若手がチャレンジして変革を起こせる

幅広いフィールド

- ・ 1次産業を中心とした多様なフィールド
- ・ 実際に世の中を動かせる豊富なツール
- ・ ローカルからグローバルまで幅広い活躍の場がある

本省の組織

それぞれの**品目**（米、肉、魚など）の産業振興を行いながら【縦軸】、
全ての品目に**共通する課題**（環境、防疫、国際交渉、新規就農、インフラ整備など）
については、品目横断的に政策を打ち出しています【横軸】。



北海道農政事務所の組織

北海道農政事務所

企画調整室

・各種政策の推進・調整・広報、防災対策の事務等

総務管理官

総務課 会計課

・公文書類、個人情報保護、職員の福利厚生、人事等
・予算の執行、支出の決定、物品の管理、売買等の契約、
営繕及び庁舎内の管理

生産経営産業部

生産支援課 業務管理課 担い手育成課 事業支援課

・農畜産物の生産振興対策、米穀の需給計画・生産調整等
・主要食糧の集荷、買入れ、保管及び売渡し
・経営所得安定対策の推進及び交付金の支出・決定
・農林水産物・食品の輸出対策、再生可能エネルギー、バ
イオマスその他の資源の有効な利用の確保

消費・安全部

消費生活課 米穀流通・食品表示監視課 農産安全管理課 畜水産安全管理課

・食の安全に関する情報の受発信
・食品表示適正化による消費者への的確な情報の伝達・提供
・米の適正な流通に向けた監視
・牛トレーサビリティ制度や農畜水産物の安全性などの確保

統計部

調整課 統計企画課 経営・構造統計課 生産流通消費統計課

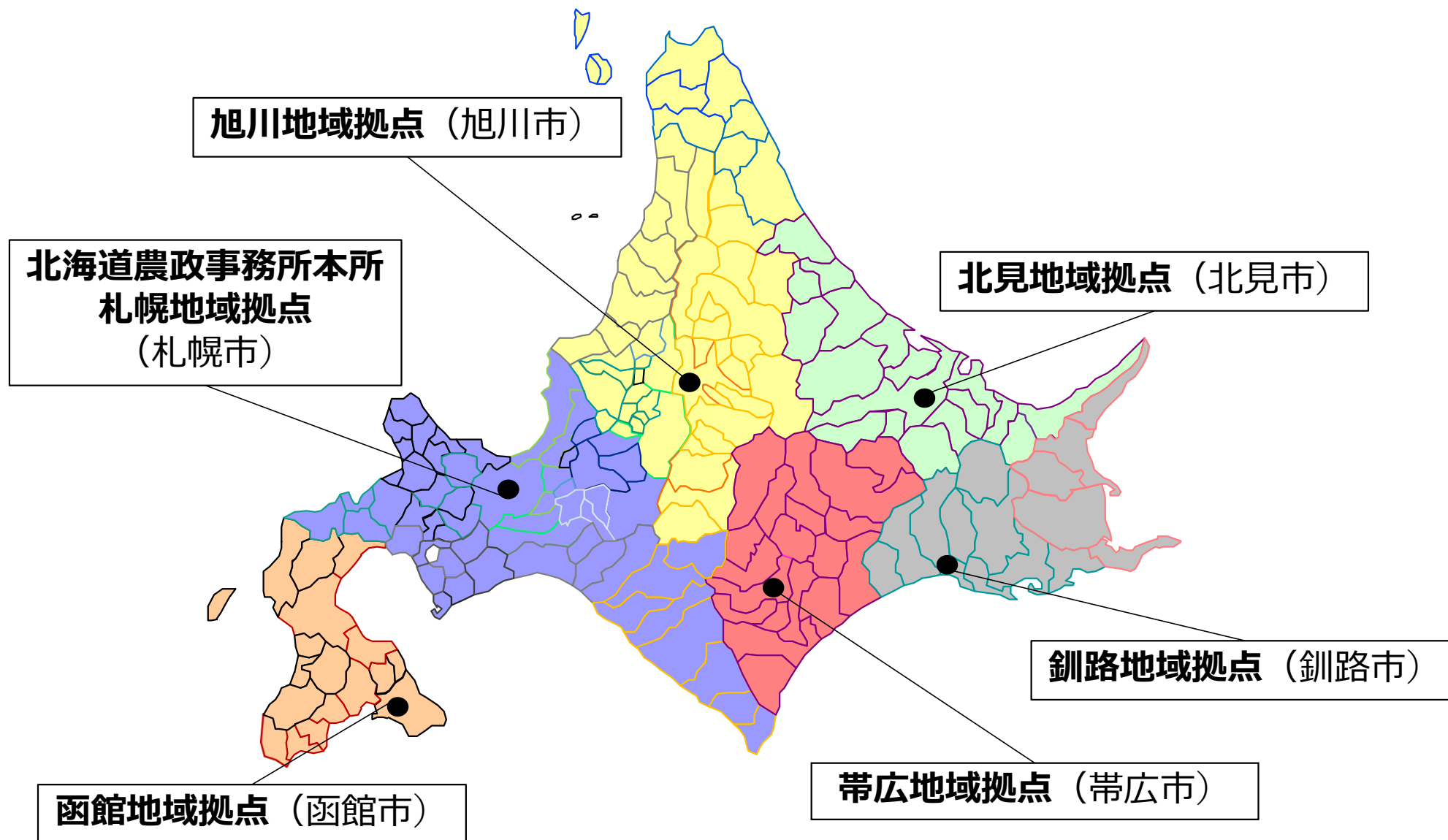
・統計の広報及び普及
・統計データの加工・分析、結果等の提供
・農林漁業の経営・構造の実態把握
・農林水産物の生産・流通・加工・消費の実態把握

地域拠点（札幌、函館、旭川、釧路、帯広、北見）

・現場と農政を結ぶ業務

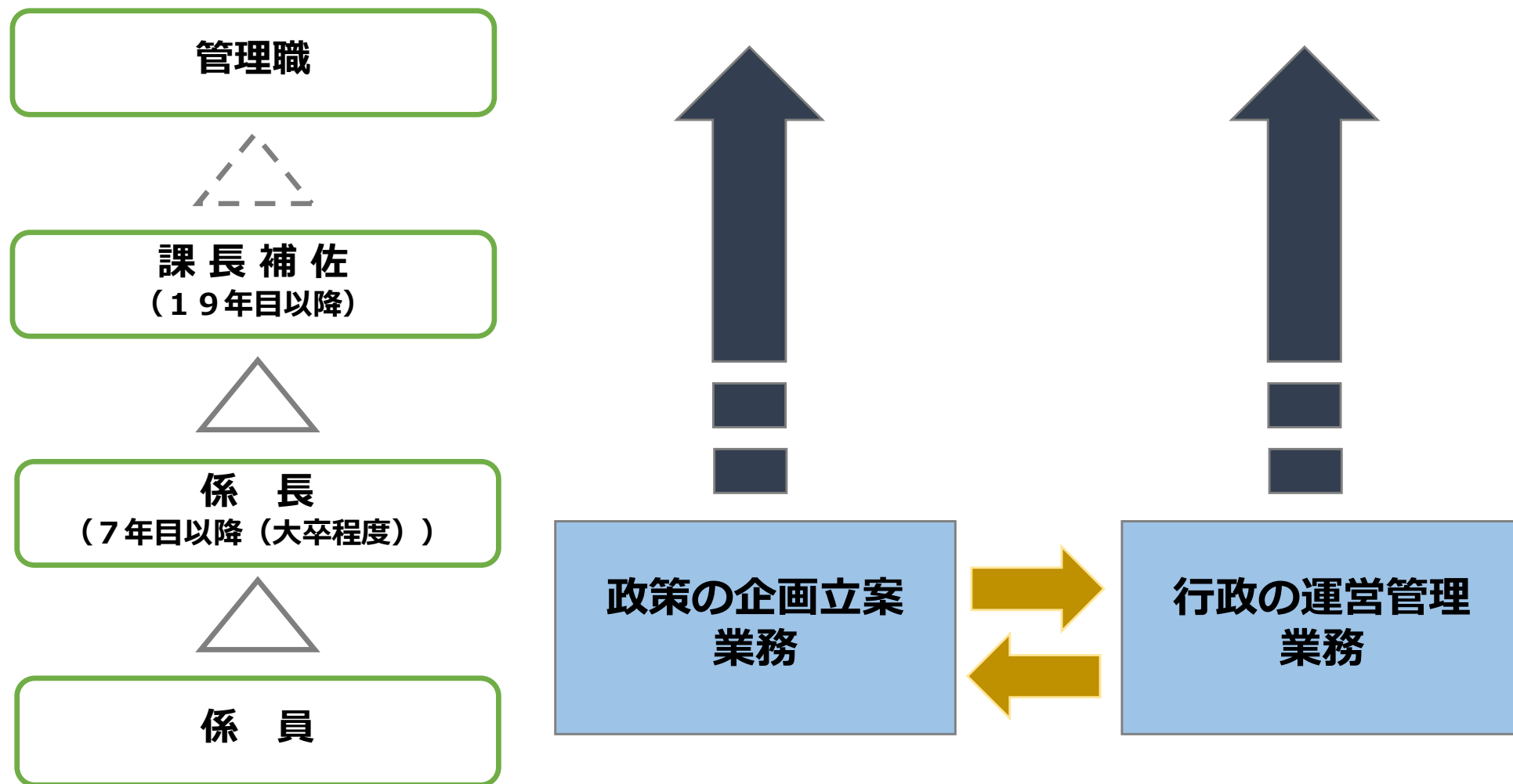
北海道農政事務所の組織

北海道農政事務所は、**本所（札幌市）**と**6箇所**の**地域拠点（札幌、函館、旭川、釧路、帯広、北見）**で構成され、全道で**400名以上の職員**が働いています。



キャリアパス（一般職行政（北海道農政事務所採用））

- ▼ 北海道農政事務所管内での異動が基本となります。
なお、入省3～4年目は農林水産省本省での業務経験をしていただきます。
- ▼ おおむね2年程度ごとに様々なポストを経験していただきながら、将来的に、自分にあった分野のスペシャリストになってもらいます。



北海道農政事務所の配属例（一般職（行政））

政策の執行業務

・輸出促進業務

生産経営産業部 事業支援課
R4入省 Sさん



輸出促進関係業務

- ・補助金業務
- ・委託事業業務（契約・イベント企画・運営）
- ・輸出促進事業者のフォローアップ
- ・BUZZMAFF：YouTubeチャンネル「なまらでっかい道」にも参加中

・畜産振興業務

生産経営産業部 生産支援課
H29入省 Sさん



- ・補助事業業務（交付申請書の審査等）
- ・家畜遺伝資源業務（立入検査等）
- ・養蜂業務（補助事業等）

行政の運営管理業務

・企画調整業務

企画調整室
H30入省 Hさん



- ・北海道農政事務所全体のHPの管理
- ・夏休みこども体験デーなどイベントの企画
- ・BUZZMAFFの企画、撮影、編集
- ・北海道農政事務所広報誌の作成

・総務業務

総務課
R4入省 Sさん



- ・システム機器管理
- ・職員からのシステムに関する照会対応
- ・代表電話対応
- ・郵便物仕分け、発送業務
- ・秘書業務

キャリアパス（一般職技術（本省採用））

一般職

地方農政局において事業執行や現場での情報収集等の農業施策の実施に関する業務経験を積みつつ、本省での企画・立案にも経験し、様々な部署を経験して行く中で、農産、経営、輸出国際、食品産業などそれぞれの適性にあった専門分野のスペシャリストとして活躍！

- ・ 他省庁への出向などもあり！
- ・ 農産、経営、輸出国際、食品産業など、スペシャリストとして活躍！

係員

農政全体を学びつつ、仕事の仕方を覚える

係長

課室長や課長補佐の責任の下、特定の業務を担当し、課室や班の業務の柱となる

課長補佐

班を率いて、対外調整を担いつつ、政策の企画・立案や実施を主導する

課室長

課のトップとして、意思決定を行う

一定期間以上の業務を経験し、人事評価で一定の要件を満たす者が昇任・昇格の候補者となる。候補者の中から、人事評価、今後のキャリアプラン、ポストの有無等を総合的に判断して決定。

若手がどんどん行動しています

• BUZZ MAFF

【設立】2020年1月7日

【チャンネル登録者】17.4万人

農林水産省職員自らが、YouTuberとなり担当業務にとらわれず、スキルや個性を活かして、農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクト。

省内公募で選ばれたチームが日替わりで発信しています。

北海道農政事務所でも若手職員を中心に

【なまらでっかい道】を結成しています。

北海道愛の強い職員が、元気ハツラツに、農業体験や道産食材を使っの料理などを通じて、北海道の農林水産物・農山漁村の魅力を発信します！



BUZZMAFF ばずまふ（農林水産省）

@BUZZMAFF - チャンネル登録者数 17.4万人・1535本の動画

農林水産省職員が、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良...

チャンネル登録



人材育成・研修

新規採用者向け研修

入省1年目の職員を対象に4月に開催します。
公務員としての心構えや農林水産行政の基礎知識等を学びます。

農村派遣研修

入省2年目に在職する職員を農家の元に5日間派遣し、農林水産業の実情を経験する研修

職員向け研修

北海道農政事務所では**能力向上、知識習得のための様々な研修、現場視察に参加可能**であり、**対面**研修のほか、**オンライン**研修も充実しています。

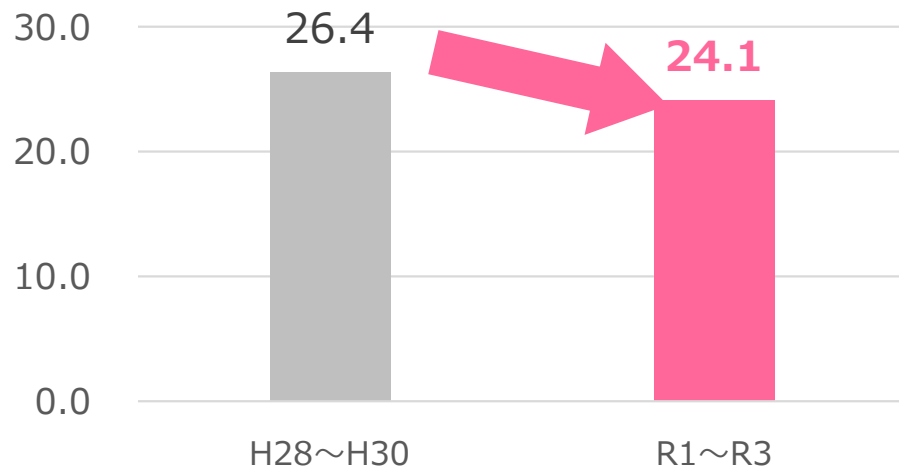
【研修例】情報セキュリティ研修、文書管理研修、ITパスポート研修、農業関連施設の視察、担当業務に関する研修（畜産、食品安全、統計、会計、情報技術など）



職員の働き方（働き方改革）

○ 超過勤務時間は減少傾向

（時間/月）



出典：農林水産省HPを基に作成

○ 職員一人当たりの超過勤務時間（一月あたり）

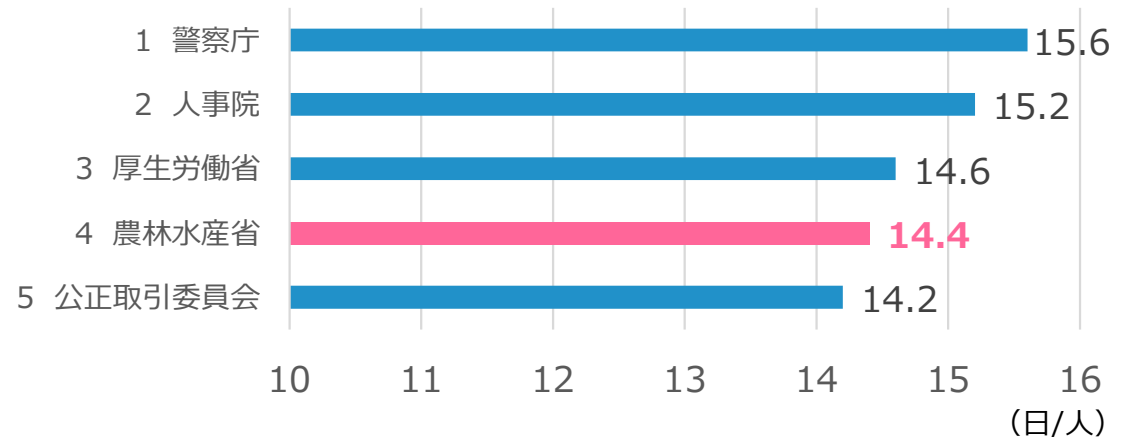
本省 （常勤職員）	25.0時間
地方機関 （常勤職員）	6.5時間
合 計	11.1時間

※令和3年における職員一人当たりの平均超過勤務時間数。
出典：農林水産省HP

○ 休暇取得

一人当たりの年次休暇取得日数は、**全省庁で4番目**

年次休暇取得日数（国家公務員（行政））



出典：内閣府男女共同参画局 女性活躍推進法「見える化」サイト

○ 多様な働き方～テレワーク等～

- ・テレワーク、フレックスタイム制度、早出遅出出勤など、ライフスタイルに合わせた勤務時間の選択が可能。
- ・令和2年度実績では、**テレワークの実施回数**が多い府省（本省）で農林水産省は**全省庁で3番目**（国家公務員テレワーク取組状況等調査より）。

働き方改革
キャラクター



省内の働き方改革などを進めています

男女ともに、子育てしながら働くのが当たり前の職場です。

農林水産省育休取得率

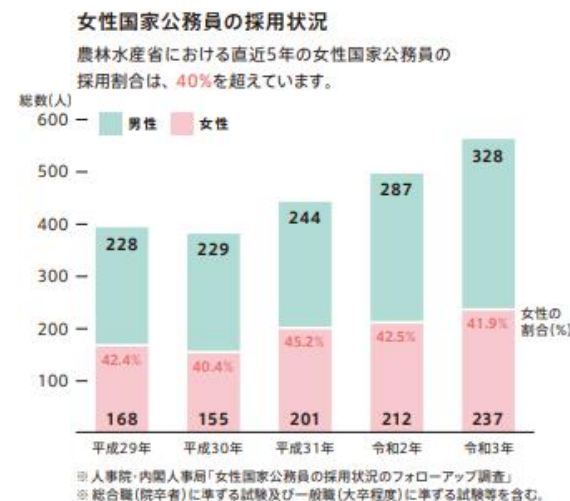
男性：81.3%、女性：102.7%

(参考)

総務省 男：70.6%、女：100%
外務省 男：41.9%、女：96.8%
文科省 男：32.1%、女：86.7%
厚労省 男：92.5%、女：98.5%
経産省 男：67.0%、女：106.7%
国交省 男：66.6%、女：98.0%
財務省 男：80.5%、女：97.9%

出典：仕事と家庭の両立支援関係制度の利用状況調査（令和4年度）の結果について（人事院）

農林水産省の採用者に占める女性の割合



採用スケジュール

(2024年度一般職行政(北海道農政事務所採用))

行政系

※ 昨年度より全体のスケジュールが早まっていますのでご注意ください。

2/22 (木)
～
3/25 (月)

受験申込期間

6/2 (日)

人事院第1次試験(筆記)

6/26 (水)
9:00

官庁訪問予約受付開始
※詳細は農政事務所のHPをチェック!
第1次試験合格発表

7/2 (火)
～
7/5 (金)

官庁訪問(北海道農政事務所)
※土日祝日は実施しません
※詳細は農政事務所のHPをチェック!

7/10 (水)
～
7/26 (金)

人事院第2次試験(面接)
※官庁訪問禁止期間(7/7～7/28(日))

8/13 (火)
9:00

内々定解禁
最終合格発表

10/1 (火)
以降

内定

試験に合格すると…
最終合格者は採用候補者名簿に記載されます。
一度名簿に掲載されると**5年間**有効です。

採用スケジュール

(2024年度一般職技術(本省採用))

技術系

※ 昨年度より全体のスケジュールが早まっていますのでご注意ください。

2月22日
～3月25日

試験インターネット申込期間

6月2日

第1次試験(多肢選択式・記述式)

6月26日

第1次試験合格発表

7月2日
スタート

官庁訪問

(農林水産省の採用面接)

7月10日
～26日

第2次試験(人物)

8月5日
スタート

最終面接

(農林水産省の採用面接)

8月13日

最終合格発表

試験に合格すると・・・
最終合格者は採用候補者名簿に記載されます。
一度名簿に掲載されると5年間有効です。

新規採用者数の推移（一般職 北海道農政事務所）

北海道農政事務所における**新規採用者数**は、**年々増加**しています。

（新卒だけではなく、**既卒の受験者も採用**しています。）

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般職 行政 (北海道採用)	8名	12名	13名	15名	16名
一般職 技術 (本省採用)	4名	5名	4名	6名	4名
計	12名	17名	17名	21名	20名

農林水産省への就職のご案内

(一般職試験（大卒程度）行政区分)

一般職試験（大卒程度）行政区分を合格された方が農林水産省への就職を志望される場合は、以下の機関で採用の機会があります。

機関名	担当業務	採用実績 (R 5)
農林水産省 (本省)	農林水産省の本省（大臣官房～農林水産技術会議事務局）に配属され、農林水産政策の企画・立案等を担当します。	4 5 名
農林水産省統計部	統計部に配属され、施策の企画・立案に不可欠な農林水産統計の作成・提供・整備等を担当します。	(技術系と合計) 1 5 名
農林水産省デジタル戦略グループ	農林水産省本省（主にデジタル戦略グループ）に配属され、農林水産業・食関連産業のDX実現に向けた政策の企画・立案等を担当します。	(技術系と合計) 4 名
地方農政局、 北海道農政事務所	全国の地方支分部局で、本局又は管内の県域拠点・事業所等に配属され、主に本省で企画された政策の実施等を担当します。	(全国合計) 1 1 6 名
植物防疫所	全国の植物防疫所で、植物の輸出入検疫業務等を円滑に実施するための総務関係業務を担当します。	1 名
動物検疫所	全国の動物検疫所で、動物の輸出入検疫業務等を円滑に実施するための総務関係業務を担当します。	2 名
林野庁	林野庁本庁及び全国の森林管理局・署に配属され、国有林野の管理・経営等を担当します。	1 7 名
水産庁	水産庁本庁及び漁業調整事務所に配属され、水産政策の企画立案及び実施等を担当します。	1 0 名



希望する機関のHPで官庁訪問の案内等をチェックしましょう！

採用関係の情報

行政系

【お問合せ先：北海道農政事務事務所総務課人事グループ】

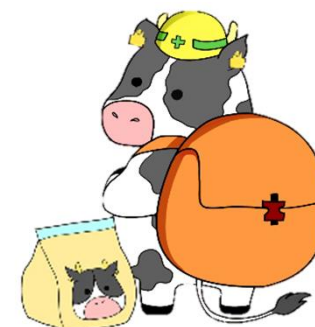
Mail: saiyo@maff.go.jp

Tel: 011-330-8804

・職員インタビュー
・若手の一日 など
北海道農政事務所の概要がわかる！



【北海道農政事務所採用関係HP】



技術系

【お問合せ先：農林水産省大臣官房秘書課企画第1班】

Mail: saiyou_kanbou@maff.go.jp

Tel: 03-6744-2001



【採用HPトップ】
3/12にリニューアル！ イベントの予約はこちら



【マイページ登録】



【説明会一覧】



【採用パンフ】
3/1にリニューアル！